

---

# ごみ問題

宮本司

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ごみ問題

### 【Nコード】

N4220D

### 【作者名】

宮本司

### 【あらすじ】

隣室に引っ越してきたばかりの渡辺親子のごみの捨て方に不満が募る山田（主婦・45歳）。今日も小言を言おうと渡辺家を訪れると……。笑ってはいけない笑劇の結末が。

「もー。また、渡辺さんね。『燃えないゴミの日は木曜日だ』ってこの前教えたばかりなのに」

山田（主婦、45歳）はマンションのゴミ置き場に自分のゴミ袋を置くと、代わりに空き缶がいつぱいに入った不燃ごみの袋を手に取り、隣の部屋の渡辺家へと向かった。渡辺家は2週間前このマンションへ越してきた、父親と高校生の娘の2人家族だ。ピンポン。

「はい」

娘の声がインターフォンに応答した。

「渡辺さん。隣の山田ですけど、今日燃えないゴミ出したでしょ？今日は燃えるゴミの日ですよ。『燃えないゴミは燃えないゴミの日』に出してください」

山田がインターフォンに向かってまくしたてていると、高校生の娘が申し訳なさそうな顔をしてドアを開けた。

「すみません。引越したばかりでよくわからなくて」

山田はぶつきらばうに不燃ごみの袋を娘につき返すと、「今度から気をつけてくださいね」と言い残し、自分の部屋へと帰ろうとした。しかし、予想外にも娘に引き止められた。

「山田さん。すみません。ゴミの出し方のことでもうひとつ教えてほしいんですけど」

そういうと、娘は部屋の中に山田を招き入れた。

「これなんですけど、何のごみの日に出せばいいですか？『生ゴミの日』ですかそれとも『粗大ゴミの日』ですか？」

娘が指さした先には、全身メッタ刺しにされた父親の死体があった。

「昨日成績のことで怒られて包丁で刺しちゃったんですけど、死体の処理のことまで考えてなくて……」

ふうー。

山田は大きいため息をついた。最近の子は何にもわかっていないのだから。

そして山田は答えた。

「父は『父の日』に出すに決まっていますでしょう」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4220d/>

---

ごみ問題

2010年11月14日15時09分発行